

# Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ  
 NAGOYA YMCA5-2 KAMIMAEZU2 NAKAKU  
 NAGOYA 460 JAPAN

国際会長標語 「共に目指そうビジョンの実現-2000年2000クラブ」  
 777会長標語 “REALISING TOGETHER OUR VISION”  
 西日本区理事標語 「ビジョンを掲げ、青年と共に働くワイズ」  
 中部部長標語 「新しい風 フレッシュ中部」  
 クラブ会長標語 「地域とともに」 広げようワイズの輪

## 1998年 7月号

### ＜今月の聖句＞

すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きだした。その日は安息日であった。そこで、ユダヤ人たちは病気をいやしていただいた人に言った。「今日は安息日だ。だから床を担ぐことは、律法で許されていない。」しかし、その人は、「わたしをいやしてくださった方が、『床を担いで歩きなさい』と言われたのです」と答えた。 ヨハネによる福音書 5章9節～11節

## 第一例会の欠席者は亀谷 龍生または服部 庄三（会長）に連絡

### 1998年7月例会のご案内

#### ◎ 1泊例会

と き：7月11・12日（土・日）

ところ：サンピア伊賀

三重県上野市西明寺 2756-104

TEL：0595-24-7000

98'活動報告、97'会計報告 他

#### ◎ 第二例会会

と き：7月28日（火）19時より

ところ：名古屋YMCA

◎98'第1回街頭募金実行委員会

と き：7月1日（水）

ところ：名古屋YMCA

### 第1例会報告

6月9日（火）の第1例会は、8月29日ホテル「花水木」で行われる中部部会の参加協力のお願いに来られた、四日市ワイズの河村氏、塚本氏の両氏の同席にて開かれました。

今回の第1例会は、98'の上半期の活動方針、そして来年我がクラブがホストとなる中部部会の実行委員について話し会いました。

◎8月1・2日の日和田火祭りについて  
 早川兄を委員長 坂倉兄を副委員長として  
 ゲーム等企画、立案する。

◎9月12、13日の根の上祭りについて  
 坂倉・坂野兄を抽選会、バーベキューを坂口兄、恵那／根の上間チャリソンのメンバー・リーダーをグランパス各自の車にて輸送。

根の上祭りの活動をCS資金の運営にあてることができるよう企画する。

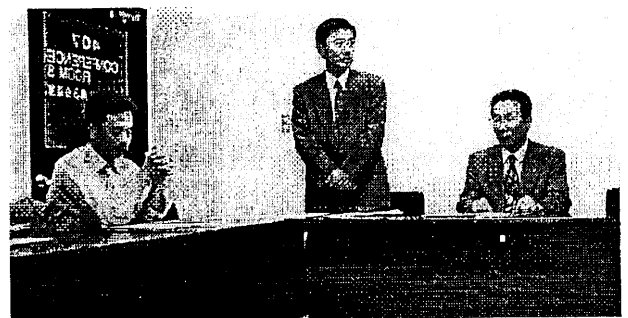
常川里美姉、「根の上を愛する会」と共に相談の上今後の継続していく根の上のプログラ

ムを長期に渡ったビジョンの中で企画していく。

◎中部部会について 部長・加藤道子  
 実行委員長・三井兄、副委員長・坂倉兄  
 事務局長・坂口兄。

以上6月の第1例会はなかなか活発な議論、意見の中、進んだように思われました。

1泊例会でも更により意見がでるよう期待したいものです。



## 第1回西日本区大会

記念すべき第1回の西日本区大会が岡山クラブのホストにより、6月13日(土)～14日(日)の日程で倉敷市芸文館にて開催されました。

ハンドベルアンサンブル演奏をバックのオープニング。佐々木西日本区理事の開会点鐘に始まった大会に、昨年の出来事をダブらせていたのは私だけでしょうか。

アトラクションでの胡弓の演奏では、甘い音色に酔いしれて、ついに睡魔にまけてしまったメンバー(私を含めて)も…。すばらしい音色でした。

さて、アイビースクエアでのディナーパーティーは朝の通勤ラッシュ並の大盛況で、大いにスキンシップが図られました。昨年の日本区大会でお世話になった面々にもご挨拶が出来、有意義な時間を過ごしました。



第二日目の表彰式では、我がグランパスクラブは何と7つの賞(EMC優秀クラブ賞、Membership優秀クラブ賞、ノンドロップ賞、年会員獲得賞、女性会員獲得賞、BF100%達成賞、TOF銅賞)を獲得し、昨年に引き続き中部のグランパスクラブを大いにアピール出来たと思います。7つのワッペンをバナーのどこに貼ろうか悩むところです。アイデアありましたら会長まで。

傘を離せないあいにくの天候でしたが、大原美術館他、倉敷の街をゆっくり散策できる時間もあり、名産「ままかり」の味に舌鼓を打ち、久々に「ゆとり」を感じた2日間でした。

荒川 恭次



## “一年を振り返って”

直前会長 坂倉 洋



昨年7月5日乗鞍高原萌木庵にて、荒川会長より会長バッチを引き継ぎ、もう一年です。 なんとか無事会長職を全うできたのもメンバーをはじめYMCAその他多くの方々の御協力あつてのことで、深く感謝致します。

「楽しくなければワイズじゃない」を会長標語に掲げ一年間活動してきました。 メンバーのみなさんは、ワイズ活動をこの一年間楽しめましたか？。 御意見、御不満など色々あるでしょうが、私自身はとても楽しく忙しい一年を過ごすことができました。でもまだまだやり残し事があるような気がします。今年度（97～98）の一年間は、日本区大会の主催が終わり、次のステップへの助走期間だったと思います。

来年度は服部会長の掲げる「『地域とともに』広げようワイズの輪」に向かって、進んでいきたいと思ひます。 メンバーのみなさん、ありがとうございました。

最後に、ブリテン紙面を借りて、我が最愛の妻に感謝いたします。

これからもよろしく！！

## “「地域とともに」広げようワイズの輪”

会長 服部 庄三

グランパスの皆さん、今年度会長を勤めさせていただきます服部です。 一年間よろしくお願ひいたします。 グランパス誕生から7年目、理事を輩出し日本区最後の大会をホストしたクラブの7代目の会長として、前任の方々に負けないよう頑張りたいと思ひます。

会長標語として上記のとおりとしました。 読んでお解りのようにCS (Community Service) を特に活動の中心にしたいと考えています。 ワイズではCSの定義として「関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕の実践を心がける。したがってCSとは大は地球社会の、小は近隣社会の隣人への心を込めた奉仕活動である。」としています。 今年一年この定義を考え、実践として現在名古屋YMCAのボランティア活動の一つである、聴覚障害の子供たちのためのプログラムへ、積極的に参加協力していきたいと思ひます。



また、来年度には我クラブより加藤道子姉が中部部長として決定しており、そのバックアップと、中部部会の準備にとりかからなければなりません。 日本区大会の経験を生かし、一致協力して皆で頑張らましよう。



